

2025年国際博覧会の誘致に関する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会の開催は、我が国において新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済波及効果を有する。加えて、全世界に向けて日本の存在感を示す絶好の機会となるものである。

現在、那覇空港を経由して関西国際空港とアジアの主要空港との間には、LCCが就航し、我が国への訪日外国人客の重要な経路の一つとなっている。

2025年に国際博覧会が開催されれば、交流人口は一層拡大し、博覧会の開催地である大阪・関西と沖縄県の産業振興、観光、文化交流等にも一段の活性化がもたらされるであろう。これは県内全域の振興や住民の生活向上にもつながるものである。

1975年、本県は「海—その望ましい未来」を統一テーマに沖縄国際海洋博覧会を開催した。同博覧会が掲げた海の豊かさを大切にする精神は、国連が現在提唱するSDGsにも明記されている。また、本年2月、本県は、シンポジウム「水から考えるSDGs×沖縄・島じまの挑戦」を開催した。ここでは、「水」をキーワードに、持続的成長可能な島の暮らしと未来に向け、我々が取り組むべきことを内外に発信した。

大阪・関西での博覧会は、SDGsの達成された社会を目標に、人類の共通課題への解決策を参加国とともに作り上げるとしており、ここにも沖縄国際海洋博覧会の理念や本県施策の発展の方向性が反映されている。

よって、本県議会は、我が国が開催を目指す大阪・関西における2025年の国際博覧会を支持するとともに、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、必要な協力を積極的に推進していく。

以上、決議する。

平成30年7月6日

沖 縄 県 議 会